

18 この顔だれだ？

自然のものを使って、友達などの顔を描く（作る）という、想像力を働かせる活動です。

木の枝や皮、葉、コケ、草木の実、小石や土など、自然の中にある材料を集めて、友達などの顔を描きます。

材料を集めることを通して、自然観察の視点を育てたり、グループの所属意識を高めたりすることができます。



時 期	通 年 (積雪時不可)	所要時間	30分～1 時間程度	活動場所	自然の家周辺
対 象	小学生以上	人 数	1グループ8人程度まで 6～8グループ程度まで		
準備物	自然の家で貸し出すもの		団体や個人で準備するもの		
	☐ 画板 ☐ 看板「この先進めません」見本		各グループに ☐ 台紙用の画用紙（白色か淡色） ☐ セロハンテープ ☐ 筆記用具（メモ書きする場合） ☐ 付箋紙（メモ書きする場合） ☐ 腕時計		
活動の手順	活動の実際	1 活動の説明 (1) ゲーム方法①…描く相手を他のグループから選ぶ ・グループに分け、誰の顔を描くか相談する。 ※他のグループには描く顔が誰なのか知られないように相談する。 ※グループの数が多いときは、それぞれどのグループのメンバーを描くかをあらかじめ決めておいた方がよい。 ・お互いに他のグループのメンバーの顔がよく見えるように並び、描く相手の顔の特徴などを確認する。 ※ここでも他のグループには描く顔が誰なのか知られないようにする。 ゲーム方法②…描く相手を自分のグループから選ばせる グループに分け、誰の顔を描くか相談する。 ※他のグループには描く顔が誰なのか知られないように相談する。 (2) 注意事項 ・自然を大切にし、必要以上のものは採集しない。 ・グループで一緒に行動する。 ・ウルシ、ツタウルシに気を付け、遊歩道を歩く。 ※遊歩道以外の場所を通るとウルシに触れてしまうことがある。 ※実物を見せて確認するとよい。 2 集合時刻を確認する。 3 似顔絵を描く材料として、フィールドの中の自然物を集める。 4 画用紙（画板に固定）の上をキャンバスに見立てて、似顔絵を描く（作る）。 ・転がりやすいものはテープで固定するとよい。 5 時間になったら作品を互いに公開させ、各グループの作品はいったい誰の顔なのか、推理する。 ・推理したものを付箋紙に書いて作品の近くにメモを貼らせたり、その場で挙手して当てさせたりする方法がある。			
		備 考 1 友達の顔の特徴については、決してネガティブにとらないように事前に注意してください。 2 必要以上に自然物の材料を集めてこないように配慮させてください。 3 活動場所については、事前に下見をして、危険な所、有毒・有害な動植物などについてチェックしてください。			

「モンタージュ」参考：日本教育科学研究所 IORE SHEET